

2 管理指標一覧

基本目標	管理指標	項目	現況 (H13年)	目標値 (H24年)	目標値の設定概要
(1) 生活のなかで身近に海を感じるまちをつくる	■ 「水辺のいい場所ランキング」を実施し、「いい場所」を最初の認定箇所数の2倍以上に増やすことを目標とします。	水辺のいい場所ランキング認定数	未認定	2倍以上	親水性向上が強く求められており、最初の認定箇所を2倍以上に増加することを目標
	■ マリンゲート塩釜の総利用者数、年間150万人を維持します。また、そのうち船舶利用以外の利用者割合を50%以上を目標とします。	マリンゲート塩釜の総利用者数	130万人	150万人維持	平成11年水準の総利用者数維持が目標
		船舶利用以外の利用者割合※	44.6%	50%以上	市民利用の5割以上が目標 ※利用者割合(マリンゲート塩釜の総利用者数と船舶利用実績を基に算出)
	■ 市民アンケート調査での海と接する機会が「少しある」又は「たくさんある」の回答率を60%に引き上げることを目標とします。	海と接する機会が「少しある」又は「たくさんある」の回答率	41.8%	60%以上	市民アンケート調査の現況では、50%を下回っており、50%に10ポイント程度増加を見込んだ目標
(2) 自然を守り、まちの緑を育てる	■ 1人あたりの都市公園等面積を20m ² に拡大し、市内幹線道路の街路樹整備率を26%以上にします。	1人あたりの都市公園等面積	8.0m ²	20m ² (H27年)	都市マスタープランにおける整備目標(平成27年)
		街路樹整備率※	18.3%	26%以上	現行の都市計画街路・身近なまちづくり支援街路事業等の整備計画より算出 ※街路樹整備率 市内の幹線道路(市道及び県道)の歩道設置路線延長に対する街路樹整備路線延長の割合
	■ 8箇所以上の公園を再整備します。	公園の再整備	0箇所	8箇所	東西南北の各地区2箇所以上の整備を目標
	■ 生活排水処理率を99%以上に引き上げることを目標とします。	生活排水処理率※	87%	99%以上 (H22年)	生活排水処理基本計画の処理目標(平成22年) ※生活排水処理率 行政人口に対する、下水道、漁業集落排水処理施設、合併処理浄化槽等の処理人口の割合
	■ 市民アンケート調査での「家やその周辺でみどりを育てている」の実施率を85%に引き上げることを目標とします。	「家やその周辺でみどりを育てている」の実施率	81%	85%以上	市民アンケート調査の現況では、80%を上回っていることから、5ポイント程度増加を見込んだ目標

基本目標	管理指標	項目	現況 (H13年)	目標値 (H24年)	目標値の設定概要
(3) 自然や伝統的な景観を守り、活用する	■ 鹽竈神社周辺の歴史的地区環境整備街路事業の整備延長を4.2km以上にします。	歴史的地区環境整備街路事業の整備延長	0.1km	4.2km以上	鹽竈神社周辺の歴史的地区環境整備街路事業の計画延長
	■ 文化財・史跡サインの設置数を40箇所以上にします。	文化財・史跡サインの設置数	12箇所	40箇所	毎年、3箇所程度設置を目標
	■ 市民アンケート調査での「景観や歴史・ゆとり空間」について、「少しある」または「たくさんある」の回答率を60%に引き上げることを目標とします。	「景観や歴史・ゆとり空間」について、「少しある」または「たくさんある」の回答率	44.6%	60%以上	市民アンケート調査の現況では、50%を下回っており、50%に10ポイント程度増加を見込んだ目標
(4) 地域循環型の都市をつくる	■ リサイクル率を30%以上に引き上げることを目標とします。	リサイクル率*	16.5%	30%以上 (H22年)	宮城県廃棄物処理計画の目標値(平成22年)に整合 ※リサイクル率 (市の資源化量+団体回収量) ÷(市のごみ総排出量+団体回収量)
	■ 1人1日あたりの家庭ごみ排出量を22.4%以上削減(667g以下に)することを目標とします。	1人1日あたりの家庭ごみ排出量	860g	667g以下 (H22年)	宮城県廃棄物処理計画の「1人1日あたりの家庭ごみ・事業系一般廃棄物の排出量(1,000g以下)」目標値(平成22年)に整合
	■ 1人1日あたりの事業系一般廃棄物の排出量を22.4%以上削減(333g以下に)することを目標とします。	1人1日あたりの事業系一般廃棄物の排出量	429g	333g以下 (H22年)	
	■ 市内の電力消費量を平成7年度レベル(現況より6%減少)にすることを目標とし	市内の電力消費量	286,675 千kwh	269,000 千kwh	平成7年時の消費量(現況比6%減)を目標
	■ 市民アンケートでの循環型社会への取り組みの実施率を、各現況以上に引き上げることを目標とします。	水を出しっぱなしにしないの回答率	81.6%	各項目とも 現況以上に 引き上げ	市民アンケート調査の現況では、項目ごとにばらつきはあるが、全体的な取り組みの向上が必要であるため、統一の目標とした ※クリーンエネルギー 化石燃料の燃焼や原子力などと違って、廃棄物によって環境を汚染することのないエネルギーのこと。太陽熱・地熱・風力・波力など。
		節水を心がけているの回答率	77.3%		
		ごみの分別、再利用に取り組んでいるの回答	88.6%		
		生ごみを堆肥化しているの回答率	22.7%		
		クリーンエネルギー [※] を利用しているの回答	7.8%		
		冷暖房の設定温度を調節しているの回答率	74.3%		
節電を心がけているの回答率		88.1%			
過剰包装をさせないの回答率		52.8%			
ものを大切に使用しているの回答率	80.8%				

基本目標	管理指標	項目	現況 (H13年)	目標値 (H24年)	目標値の設定概要
(5) 環境負荷の少ないまちの基盤をつくる	■ 市内循環バスの利用者数を30万人以上に増加することを目標とします。	市内循環バスの利用者数	154,656人 (H12年)	30万人以上	現状を2倍以上に増加することを目標
	■ 下水道普及率(計画区域内)を100%にします。	公共下水道普及率*	95.7%	100%	塩竈市流域関連公共下水道事業計画(汚水)の整備計画 *公共下水道普及率 行政区域人口に対する、下水道(汚水)による処理区域人口の割合のこと。
	■ 市民アンケートでの「公共交通や歩いて行ける場所に行くときは、自動車を使わないようにしている」の回答率を70%以上に引き上げることを目標とします。	「公共交通や歩いて行ける場所に行くときは、自動車を使わないようにしている」の回答率	62.3%	70%以上	市民アンケート調査の現況に10ポイント程度増加を見込んだ目標
(6) 快適で安全な生活環境を確保する	■ 二酸化窒素の環境基準ゾーン下限値の0.04ppm以下を達成・維持します。	二酸化窒素 (一日平均値の年間98%値)	0.032ppm (H12年)	0.04ppm以下	宮城県環境基本計画の目標値に整合 〈環境基準〉 二酸化窒素測定値の1時間値の一日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること
		二酸化硫黄に係る環境基準の達成度 (一日平均値の2%除外値)	0.009ppm (H11年)	環境基準を達成・維持	宮城県環境基本計画の目標値に整合 〈環境基準〉 二酸化硫黄測定値の1時間値の一日平均値が0.04ppm以下、かつ、1時間値が0.1ppm以下
	■ 二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、光化学オキシダントについては、それぞれの環境基準を達成・維持します。	浮遊粒子状物質に係る環境基準の達成度 (一日平均値の2%除外値)	0.076mg/m ³ (H12年)	環境基準を達成・維持	宮城県環境基本計画の目標値に整合 〈環境基準〉 浮遊粒子状物質測定値の1時間値の一日平均値が0.10mg/m ³ 以下、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下
		光化学オキシダントに係る環境基準の達成度 (1時間値)	最高値 0.121ppm 年平均値 0.029ppm (H12年)	環境基準を達成・維持	宮城県環境基本計画の目標値に整合 〈環境基準〉 光化学オキシダント測定値の1時間値が0.06ppm以下

基本目標	管理指標	項目	現況 (H13年)	目標値 (H24年)	目標値の設定概要
	<p>■ 騒音に係る環境基準を達成・維持します。</p>	騒音に係る環境基準の達成度		環境基準を達成・維持	宮城県環境基本計画の目標値に整合
		自動車騒音 昼間 夜間	5地点中1地点 5地点中0地点		<p>〈自動車騒音環境基準〉 【要請限度】 地域類型：C区域 昼間：60【75】dB(A)以下 夜間：50【70】dB(A)以下</p>
		環境騒音 昼間 夜間	3地点中3地点 3地点中3地点 (H12年)		<p>〈騒音に係る環境基準〉 A及びB類型(一般的な住宅地) 昼間：55dB(A)以下 夜間：45dB(A)以下</p>
	<p>■ 市内の河川の調査地点におけるBODの年平均値の平均を3.0mg/l以下とするよう努めます。</p>	市内の河川の調査地点における水質(BOD*)の年平均値の平均	4.3mg/l (H12年6地点調査平均)	3.0mg/l以下	<p>類型指定のない水域が多いことから、宮城県環境基本計画の当面の目標値を目標</p> <p>※BOD 生物化学的酸素要求量。河川の汚濁の度合を表す指標で、水中の有機物等が微生物により分解されるときに必要な酸素の量で表したものの。</p> <p>〈環境基準〉 河川の水質測定値のBOD</p>
	<p>■ 市内の海域の調査地点における水質の環境基準を達成・維持し、更に上位の環境基準の達成に努めます。</p>	市内の海域の調査地点における水質(COD*)の環境基準の達成度	(H12年)	環境基準を達成・維持 上位の環境基準の達成	宮城県環境基本計画の目標値に整合
		A類型(桂島)	2.2mg/l		<p>※COD 化学的酸素要求量。海域や湖沼の汚濁の度合を表す指標で、有機物等の量を過マンガン酸カリウム等の酸化剤で酸化するときに消費される酸素の量で表したものの。</p> <p>〈環境基準〉 海域・湖沼の水質測定値 A類型：COD 2mg/l以下 B類型：COD 3mg/l以下 C類型：COD 8mg/l以下</p>
		B類型(西浜)	2.1mg/l		
		C類型(港橋)	3.1mg/l		
	<p>■ 工場、建設作業などに対する騒音・振動や生活型公害への苦情件数をなくし</p>	工場、建設作業などに対する騒音・振動や生活型公害への苦情件数	36件	0件	市民一人ひとりが環境に配慮した生活をおくることにより、苦情がなくなることを目標
	(7) 機会をふやす 環境について知る・学ぶ	<p>■ 市民環境講座の参加率を60%以上とすることを目標とします。</p>	市民環境講座の参加率※	50%	60%以上
<p>■ こどもエコクラブ加入グループ数を小学校区ごとに1つ以上を目標とします。</p>		小学校区ごとのこどもエコクラブ加入団体数	市内全地区で1グループ	1グループ	小学校区単位でのこどもエコクラブの設置が目標

基本目標	管理指標	項目	現況 (H13年)	目標値 (H24年)	目標値の設定概要
	■ 環境情報センターを平成16年までに整備します。	環境情報センターの整備	—	平成16年	
(8) 市民・事業者の環境に関する活動を支援・育成する	■ 環境活動団体の登録数、20団体以上を目標とします。	環境活動団体の登録数	2団体	20団体以上	東西南北の各地区で5団体以上の設置が目標
	■ 環境活動のリーダー・指導員数を小学校区ごとに3人以上養成します。	小学校区ごとの環境活動のリーダー・指導員数	—	3人以上	こどもエコクラブ [※] と環境活動団体のリーダー・指導者を見込んだ目標 [※] こどもエコクラブ 国が平成7年度から全国の小中学生に呼びかけて募集登録している「こどもたちの、こどもたちによる、こどもたちのための環境活動」を行うクラブのこと。地域において環境保全に関する活動を行う数人～20人程度の小中学生のグループ。
	■ 市民アンケート調査での環境に関する活動への市民参加率を60%に引き上げることを目標とします。	環境に関する活動への市民参加率	45.8%	60%以上	市民アンケート調査の現況では、50%を下回っており、50%に10ポイント程度増加を見込んだ目標
(9) 環境に配慮したくらし方をすすめる	■ 仮称) 環境率先実行計画を平成16年までに策定し、3ヵ年ごとに見なおしながら推進します。	環境率先実行計画の策定と管理	未策定	平成16年策定 3ヵ年ごとの	
	■ 仮称) 環境優良企業の認証割合を市内の小売店の50%以上とすることを目標とします。	環境優良企業の認証割合	未認証	50%以上	事業所アンケートにおける認証制度の参加意向は、「参加したい・前向きに検討したい」が42.5%となっており、「関心がある」を含めると7割以上が肯定的な意向のため
	■ 仮称) 美化推進地区数を毎年4地区ずつ増加していきます。	美化推進地区数	未指定	毎年4地区ずつ増加	東西南北の各地区で毎年1地区以上の増加が目標
	■ 環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とします。	市民の環境配慮のための重点行動指針の項目の実施率	未調査	初回調査時から10%以上に引き上げる	全体的な取り組みの向上が必要であるため、統一の目標とした